

まつうら 市議会だより

第30号

平成25年11月1日

編集・発行

市議会だより編集委員会

電話 (0956) 72-0264

第3回
定例会



松浦おさかなまつり
(10月12日 魚市場)



土谷棚田の火まつり (9月22日 福島町)



鷹島モンゴルまつり (9月21日 鷹島町)



まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

平成25年 第3回定例会

平成25年第3回定例会を、9月6日(金)から9月19日(木)までの14日間の日程で開きました。

今回の定例会では、松濤奨学基金条例の一部改正など条例6件、平成25年度各会計補正予算15件、その他の議案4件の合計25議案が上程され、いずれも原案のとおり可決いたしました。また、平成24年度の公営企業会計4件及び松浦地区火葬場組合一般会計の決算を認定いたしました。最終日には平成24年度の松浦市一般会計の決算認定及び各特別会計の決算認定12件が追加上程され、7名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置のうえ審査を付託し、議会閉会中の継続審査といたしました。また、一般会計補正予算、諮問3件及び議員提出議案2件が追加上程され、いずれも原案どおり可決、了承いたしました。

会期日程

9月6日(金)

本会議

▽会期の決定

▽議長の報告

▽市長の市政概況報告

▽監査報告

▽常任委員会の行政調査報告

▽特別委員会の中間報告

▽健全化判断比率及び資金不足比率の報告

▽議案の上程・説明・質疑・主管委員会付託

▽陳情の受理報告

7日(土)・8日(日)

休会

9日(月)・11日(水)

本会議

▽一般質問

12日(木)・13日(金)

委員会

14日(土)・16日(月)

委員会

17日(火)

委員会

18日(水)

休会

19日(木)

本会議

▽委員長報告・採決

▽議案の追加上程・説明・審議

▽認定議案の追加上程・説明・質疑

▽特別委員会の設置・付託

▽議員提出議案の上程・説明・審議

議会の傍聴に お出かけください。



次の定例市議会は

12月です。

議会はインターネット中継でもご覧いただけます。

松浦市公式ホームページを通じて生放送しますので、ご自宅のパソコンから視聴が可能です。

また、編集が終わりましたら、録画映像の配信も行います。

松浦市公式ホームページアドレス

<http://www.city-matsaura.jp>

お問い合わせは

議会事務局へどうぞ

TEL(0656)72-0264

一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が理事者の考えを質すものです。本市議会では、議会運営上、1人当たりの質問時間は60分間以内(答弁、関連質問を含む。)という取り決めになっています。

今定例会では、9月9日から11日の3日間で10人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。(登壇順)

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所 議会事務局
- 市役所 各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館

一般質問



久 枝
議 員

一、松浦高校支援事業成果と26年度追加支援について
二、志佐町浦免・浸水被害に対する関連事業の進捗状況について

質問

一、25年度から支援事業として入学準備金と下宿費及び市内航路通学費の補助が、進学及び就職支援事業として模擬・就職・資格試験等の各受験料費用補助が、また部活動強化対策事業等が補助制度として予算854万円が措置されている。より一層の効果をとの考えから、松浦鉄道運賃の全額、上限を設けての修学旅行費の2分の1、市内通学者を基準にしたバス運賃全額を追加支援事業として提案していたが、どのように検討されたのか伺います。

二、(1)市政概況報告に示されている浸水対策に対する補助制度の検討とは、どのような事業化なのか。

(2)排水対策とはポンプによる排水か。

(3)佐々町では3機のポンプを設置し、維持管理委託費に年間3千万円もかかるという。担当課としてはどう考えるか。

(4)浸水エリア内に安全性を確保した小型プールを設置して雨水を溜め、緊急時には消防ポンプ車で下水路に放出し、平常時は埋設したパイプから放出する対策をとれば、維持費もあまりかからないと思うがどうか。

答弁

一、支援事業については、市内唯一の高校を何としても存続させ、魅力ある学校であって欲しいとの思いから実施しています。今後の在り方については、まずは現在の支援策がどの程度の効果を上げたのか検証する必要があります。在校生保護者へのアンケート調査を実施しており、その結果を踏まえて学校関係者の皆様と協議を行いたいと考えています。ご提案頂きました通学費支援等についても協議の中で検討いたします。

二、(1)公共下水道の雨水事業に関する整備計画を段階的に立て、事業化に向けた準備を進めていきます。

(2)志佐町が低地であるため、浦川の水位がある程度上がると、ポンプなどによる強制的な排水を考える必要があります。

(3)強制的排水が必要であれば維持費は相当かかりますが、より効果的で経済的な位置に設置するよう検討を行います。

(4)ご提案の方法も検討すべきと思います。ポンプによる排水以外の浸水対策はできない状況ですので、方法については検討してまいります。

一般質問



木 原
議 員

一、松浦市の高齢社会の現状とこれからの課題について
二、総合福祉保健センター建設に向けた担当課としての基本的な理想像について

質問

一、国は、高齢社会の差し迫った実情に対応するため、総合的な社会保障制度の改革案を取りまとめ、改革スケジュールとしてのプログラム法案を閣議決定し、来年度から順次実施されていくことが見えてきました。団塊の世代が75歳に到達する2025年に向けて、特に高齢者の増加が見込まれ、現状のままでは対応できない状態となります。本市の高齢者の実情はどのような状態ですか。

国の諸制度と実情のギャップ、すき間をどう感じ、これからの本市の福祉政策として、どのような備えをする必要があるのかお尋ねします。

二、福祉保健センターの建設は、福祉行政を推進していく上でも、重要な役割を果たすことができる多機能施設として整備する必要があります。診療施設や子育て、少子化対策にも対応できる機能が必要だと思います。この施設によって元気な高齢者を増やす結果にもつながればなりません。これからの高齢社会に対応するためには、最優先課題として、この問題に市長みずから目鼻をつけていく考えがあるのかお尋ねします。

答弁

一、65歳以上の高齢者数は、8月末現在で7千634人です。要介護認定者数が1千591人、うち施設入所者は435人、通所系サービス利用者は568人、訪問系サービス利用者は553人となっています。今後の福祉政策については、高齢者が安心して暮らせるような施策をしていかなければと思います。国が介護保険制度改革を27年度に向けて取り組んでいますので、法案の詳細な情報をしっかりと受けとめ、遺漏のない対策を講じるとともに、その充実を図っていくべきとの認識を持っています。

二、検討委員会から基本構想の答申を受けて5年以上が経過しており、現状と今後を見据えた内容の見直しが必要だと思います。保険と福祉の核施設として整備が位置づけられています。これに医療を加え、市民の福祉の向上や健康の保持と増進、コミュニティの拠点づくりを目指して整備することも必要になってくると考えます。将来を見据えて、安心と生きがいづくりの拠点施設として幅広く検討してまいります。

一般質問

山口
議員

一、福島道の駅建設に向けて
二、福島町主要道路の整備の状況と計画及び草刈り・陰切りの徹底について

質問

答弁

一、つばき荘入口の県道脇に漁協が経営する直販所海の駅がある。新鮮な魚介や農産物が販売され、人気があります。近年、農家の主婦を中心に農産物直売のトラック朝市うるうるが、月に1回開かれていましたが、本年からは、海の駅の横に常設テントを設け、毎週日曜日に開かれています。福島にも松浦の海のふるさと館や鷹島の鷹ら島のような施設を建設する考えはないか。

二、(1)県道里工区の今後の計画と完成後の初ノ浦区域の工事は、どう予定されているか。(2)土谷棚田付近の側溝蓋の布設は、その後どうなっているか。(3)中学校付近の道路の改良は、何年の計画か。(4)バス巡回道の未整備区間における改良計画はどうなっているか。(5)土谷里線の未整備区間も全線整備すべきではないか。(6)県道は、草刈りや陰切り等が不十分で草木がはみ出し、危険で苦情も多い。早急な対応の徹底を県に強く求めてほしい。

その他福島町全域公園化に向けた取り組みについて質問しました。

一、うるうる福島町の代表の方からは、駐車場の整備や将来は加工所を備えた直売所にしたというお話をお聞きしています。海のふるさと館や鷹ら島と同様な機能を備えた施設の検討を地元関係者で行ってはどうかともお話しています。管理運営も含めて計画をご検討頂き、地元からのご提案があれば市としても前向きに検討いたします。

二、(1)県からは、本年度に物件補償調査を行い、用地確保の目処が立った時点で工事に着手する予定と聞いています。その後については、まだ決定していません。

(2)県へは要望を行っていますが、予算や人力的な面で対応が遅れているようです。

(3)本年度より本格的な事業に着手し、28年度の完成を目標としています。

(4)土谷鯛ノ鼻線が26年度以降の予定です。清水川鳥越線は塩浜里線の完了後を予定しており、現時点ではまだ未定です。

(5)整備対象路線が多数あり、計画立案可能な時期が来れば対応したい。

(6)県には再度要望をいたします。

一般質問

吉原
議員

一、森林利活用による林地の保全とそれに関わる雇用の創出について
二、上志佐小学校運動場下の歩道の改良について

質問

答弁

一、(1)森林施業で発生する林木の有効利用と、それに関わる雇用の創出の向上を図るために、専任職員の配置やコンサル会社に調査を依頼して取り組んでいるが、今後どのような事業化をされるのか。

(2)おが粉製造の場合、単年度で市の助成額は幾ら必要と見込むのか。

(3)バイオマス燃料としての活用の取り組み概要を伺いたい。

(4)バイオマス発電は、燃料となる原材料の安定確保が重要な要素です。市単独でなく広域の連携が必要となるのではないか。

(5)プラントを立地するまでの計画があるのか、それとも原木の輸送だけなのか。曲がつた物や端材を輸送すれば運搬コストは高くなり、多くの雇用は望めないのではないか。

(6)市長の森林活用に対する熱意を。

二、登下校時の小学校児童、公民館や保育所の利用者が通うに足る歩道が大変狭く、危険な状況です。運動場側への拡幅や県道の反対側に設置するなど、早急に安全スペースを確保すべきではないか。

一、(1)昨年度、木質バイオマス事業の調査委託と専門家の意見を反映させるための森林資源利用研究会を設置し、事業化に向けた検討を行いました。現在、家畜敷料に使用するおが粉製造と木質バイオマス発電事業の方向性を研究しています。

(2)前年度の事業の試算では、市の補填額として720万円程度が必要との結果が出ています。

(3)現在、原料価格の採算性の関係から、事業向けの木材の動向を踏まえて検討することとしています。

(4)ある程度採算性のある発電規模となると、原料の集積区域は、佐賀県を含めたところまで集めなければ事業が成り立たないといった状況です。

(5)採算性が合うかどうか、事業計画を十分に検討して取り組みたい。

(6)森林の活用が地域の活性化につながるという考えを基本に、今後も精力的に取り組んでいきたい。

二、歩道としては、標準的に2メートルの幅を確保する必要がありますので、どういう形で安全な歩道が確保できるか県及び教育委員会と協議を進めてまいりたい。

一般質問



立 鈴
議員

一、地場企業の育成について
二、商店街の活性化振興対策について

質問

一、市内には、非常に優れた技術力と匠の技によって発展した誘致企業があり、多くの雇用などにより市の発展に貢献しています。これらの企業が、規模を拡大し雇用の増を図る計画をしても、計画地が住宅地等で拡張ができないなど法的な問題もあると思われる。企業と情報を共有し、企業育成と雇用の拡大を図るようにしたらどうか。

また、企業等の事業概要を広報することにより、市民に身近な存在となり、人材の流失防止などの波及効果が生じると思うがどうか。

二、空き店舗のシャッターに色彩鮮やかな絵が描かれている。心は和むが、本来の商店街の活性化振興には結びついていない。まずは、消費者人口の拡大が最重要である。市内にない品物は仕方ないとしても、できるだけ市内の商店で購入する意識を高める環境づくりが重要である。抜本的な施策が必要と思われるが、市の考えを伺いたい。

答弁

一、これまでも企業間の意見交流会の場を設けたり、会議所や商工会政推進協議会におかれても情報交換が行われています。地場企業が持っている技術力を足がかりに、市内企業が成長するような取り組みができないか、引き続き努力してまいります。また、国内でも誇れるような技術力を持つ市内企業は、本市の誇りでもあります。これらの企業の情報を市民に周知することは重要だと考えます。

現在は、企業のご協力を得て、松浦駅前の看板に掲載しています。

二、現在は、シャッターが下りたところが多くみられるという状況のため、少しでも見栄えがよいようにとのことから商工会議所で取り組みしております。

また、チャレンジショップの取り組みも商工会議所で行われており、昨年度にはネイルと衣装を販売する店舗と本年度にはパン屋が開店しております。

一般質問



富 吉
議員

一、学校給食の無料化について
二、立岩地区地滑り対策の進捗について

質問

一、松浦市でも人口は、少子化と流出によって減少が進んでいる。定住促進を進めるためにも、思い切った政治判断のもとに学校給食の完全無料化を行う考えはないか。人口減少の歯止めになるのではないかと思う。

二、立岩地区の地滑り地帯に対して、県がこのたび大規模な対策工事を実施することとなっている。地域では、最近は見えてコンクリートブロックにひびが入ったような現象や市道でも水道管がずれて割れてしまったのを見かけたこともある。県による地元説明会が開かれているが、その後、どのような進捗状況で、今後の対策はどのようなになっているのかお聞きしたい。

他にいじめ問題の結果と今後の対策と体罰について及び空き家対策と定住促進について質問しました。

答弁

一、昨年度から第2子以降の給食費の半額補助を実施しています。また、学校給食法には給食の材料費は保護者が負担するという規定があります。ご提案の主旨は、少子化対策としては有効な手段と思いますが、現在、福祉医療費を中学生まで拡大し、定住促進住宅家賃の減額も実施しておりますので、現在のところは現行の補助制度を継続したいと思っています。

二、地滑り対策事業は、県の県北振興局が推進しています。立岩地区は、昭和27年ごろに最初の地滑りが発生し、35年に地滑り防止地区の指定を受け、40年代に対策工事は一旦完了しています。平成14年の調査で再び兆候が表れ、19年度と24年度に防止区域の追加指定がなされ、面積は合計で101・82ヘクタールとなっています。調川中学校から天満神社の山の上までの幅600メートルの区域が国道に向かって滑っていると想定されています。対策事業は、平成19年度から50年度までの期間で、本年度は、排水トンネル坑口までの仮設道路工事が既に発注され、来年1月までの工期となっています。

一般質問



武 辺
議 員

一、鷹島モンゴル村の現状と再生支援事業について
二、子ども読書活動推進計画の策定について

質問

一、(1)平成21年度から24年度までの来場者数をお知らせください。
(2)合併後、市が支援した金額は総額幾らですか。
(3)今後の集客数増加の可能性とその具体的な案は持っていますか。
(4)投資に見合う集客の可能性が見えない中、モンゴル村を市の観光の核と位置付ける根拠は何ですか。
(5)支援計画が来年で終わりますが、その後はどうされますか。
二、(1)県内で学校司書を配置していないのは松浦市だけですが、この現状をどう考えていますか。
(2)図書館資料運搬回収事業の実績、稼働状況、各学校の反応をお知らせください。継続すべき事業だと思いますが、来年度以降についてはどう考えていますか。
(3)図書館協議会、図書館指定管理者制度導入検討会は開催されましたか。
(4)図書館の現状を見ると、市民にとっては民間に任せられた方がよりよい運営ができるのではと思ってしまいますが、考えをお聞かせ下さい。また、図書購入費についての対応等もお聞かせ下さい。

答弁

一、(1)21年度が59万8千人、22年度が9万2千人、23年度が6万4千人、24年度が6万2千人です。
(2)合併後8年間で、指定管理料を含めた合計額は2億8千600万円です。
(3)歴史、サイの化石、水中考古学を統合的な宿泊学習として、県内外の児童や生徒を取り込む仕掛けができないか考えております。
(4)観光客数は鷹島町が市内の半数以上を占めています。また、元寇と水中考古学、サイの化石発掘など歴史的なものにもモンゴル村は可能性を秘めており、観光の核としての役割を果たすものと認識しています。
(5)モンゴル村は今後も継続します。
二、(1)読書支援員の配置については、前向きに努力いたします。
(2)事業開始から今年8月までで4万3千冊を貸し出し、市内全小中学校を1週間に1度回っています。学校からは高評価を得ており、継続できるように検討していきます。
(3)どちらもまだ開催していません。
(4)教育委員会が一体となって運営を行っていきたいと思います。また、図書購入費の予算化も行います。

一般質問



白 石
議 員

一、高齢化社会におけるまちづくりについて
二、少子化対策について

質問

一、(1)高齢化が進み、人生65年時代から90年時代を前提として全世代参画による超高齢化社会の実現を目指す必要がある、と政府の高齢社会対策会議で提議されている。本市の高齢化率はどうなっているのか。
(2)人口の3割を超す高齢者施策の主体的担当部署はどこか。
(3)健康寿命を延ばすことができるように支援する高齢者対策専門部署を独立させてはどうか。
(4)高齢者の生きがい対策の一環としてシルバー人材センターを活用してはどうか。また、補助金額が年々減少しているがその理由は何か。
(5)趣味活動を通して健康寿命を延ばすためにも、グラウンドの整備や陰切りなど行政の支援をお願いしたいがどうか。
二、(1)本市の少子化の現況はどうか。
(2)少子化解消のため、子どもを増やす対策課が必要だと思うがどうか。
(3)少子化に対する施策と高齢化対策は、市民の知恵や経験を集め、行政と一緒に暮らしやすいまちづくりを行う努力が不可欠であると思うが、市長の考えは。

答弁

一、(1)8月末現在で30・8%です。
(2)主に福祉事務所と健康ほけん課が、関係課と連携して対応しています。
(3)高齢者施策は多岐に渡り専門的知識を要するため、保健、医療、福祉が連携して取り組む方がサービスの向上と充実につながると考えます。
(4)重要性を認識し、就業の場の確保への支援をしたい。補助金の減額は国の基準の変更に基づくもので、過去3カ年の会員数の平均値と就業延べ人数により算定しています。
(5)直接的な支援ができない場合は、種々の取り組みの中で協力をし、協力できることは積極的に要望に応えるようにしています。
二、(1)0歳から14歳の人口は7月末現在3千165人で、人口に占める割合は12・8%です。
(2)子育て支援、母子保健、独身男女の出会いのサポート、ひとり親世帯に対する支援などを各課で実施し、少子化対策を進めています。
(3)総合力を集めし対策を進め、市民が安心して住み続けられるまちづくりに取り組みたいと思います。

一般質問



安江
議員

一、星鹿小学校改築後の運動場整備
について
二、玄海原発再稼働中止要請につ
いて

質問

答弁

一、(1)星鹿小学校校舎改築工事の進捗状況はどうなっていますか。

(2)仮設校舎撤去後の運動場の復旧はどのような計画になっていますか。

二、(1)九電は、新規制基準に適合しているので安全だと説明しましたが、原子炉格納容器に放水した水の処理とメルトダウンした時の対応についての説明はなかった。事故の際の「止める。冷やす。閉じ込める」の計画は不十分で安全とはいえません。市長の見解はどうですか。

(2)安全協定第4条に九電は長崎県と松浦市に事前に説明を行うとなっていますが、全市民対象の説明会はどうなっていますか。

(3)早急に住民説明会を行うように、九電に対して県から要請をしてくれるように検討はしているのですか。

(4)安全協定で相互に意見を述べることでできるとあります。再稼働は止めてほしいという市民の思いを九電に述べることにについて、どのように検討していますか。

(5)事前了解の旗は降ろしていないといわれているが、どのような段取りを考えていますか。

一、(1)現在、基礎工事が終わり、1階部分の土間コンクリートを打った状態です。

(2)撤去後、仮復旧を行います。残った工事があるため、現場や通路として使用し、工事が終わってから全体復旧をします。

二、(1)7月8日に新規制基準が施行され、現在、申請に基づく審査が行われています。審査の動向を見守りたいと思います。

(2)九電が主体となって自治会へ対応して頂くようお願いしています。今後、各地区に説明が行われていくと受けとめています。

(3)現在のところ、そこまでは県のほうに話をしておりません。

(4)今回の事前説明は、新規制基準への適合性確認のための申請に伴う安全対策についての説明でした。九電に対して、安全対策に関する意見を述べたいと考えております。

(5)県に対しては、事前了解を九電に求めていくことについて、正式に話しております。現在の状況では、どの時期に九電に話をしていくかは、検討させて頂きたい。

一般質問



山岡
議員

原発問題について

質問

答弁

(1)2年前の福島原発の事故により、いまだに原発の汚染水漏れは発生し、東北の漁民は出漁もできない悲惨な状況にあり、いまだ収束の目処がつかない状況であります。この地域の農水産物の輸入は禁止され、また、消費者からも敬遠されています。万が一、玄海原発で事故があれば、玄界灘で漁獲された魚は売れなくなり、漁民は生活できなくなります。新松浦漁協においては、緊急理事会が開催され、玄海原発再稼働反対の対策本部を設置するよう決定されております。この決定は大変重みがあると思いますが、市長として、原発再稼働問題についてどのような考えですか。

(2)原発安全協定締結については、玄海原発から8・3キロメートル以内にある新松浦漁協の役員、又は組合員にも協議されずに、なぜ一方的に事前説明の安全協定を結ばれたのか、その理由について説明をお願いいたします。

他に元寇問題、石工業の振興策及び水産業の振興策について質問しました。

(1)現在、新規制基準に基づく適合性確認の申請を九州電力が原子力規制庁に提出され、安全性について審査が行われていますが、この審査を経て再稼働に至るプロセスが国から明らかに示されていない現状です。審査の推移を見守っていきたいと思っております。先般、新松浦漁協からは、再稼働に反対する旨の要請書を受けており、漁協の皆様方とも意見を交換させて頂いたところです。

(2)締結理由の1つ目は、本市が協定締結の当事者になることができたことです。2つ目に、県及び本市に対し九州電力は事前説明を行い、相互に意見を述べるができる内容になったことです。3つ目に、原子力防災対策の範囲が、従来の10キロ圏内から30キロ圏内に見直しが進められており、こうなった場合、本市の優位性や特別に配慮された仕組みがなくなりかねないからです。4つ目は、事前了解に固執して、無協定の状況が延々と続くよりも、市民の安全確保などを総合的に判断する必要があったからです。以上の結果から、締結を決断いたしました。

常任委員会の審査概要

総務委員会

★議案第89号 松浦市税外収入金の督促手数料及び延滞金に関する条例の一部改正について

この条例改正は、地方税法改正に伴い改正されるもので、災害復旧分担金、保育料、介護保険料、後期高齢者医療保険料、下水道使用料、生活保護費返還金等が対象となります。

★議案第110号及び111号 あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について

この案件は、鷹島町阿翁浦漁港区域及び神崎港域における公有水面の埋め立て竣工に伴い、地方自治法の規定に基づき、あらたに生じた土地を確認し字の区域の変更をするものであり、現地調査の結果妥当と認めました。

文教厚生委員会

★議案第90号 松濤奨学基金条例の一部改正について

基金の名称をわかりやすくするため「松浦市奨学基金」に変更するとともに、連帯保証人の年齢要件等が新たに定められました。

★議案第95号 平成25年度松浦市一般会計補正予算（関係分）

御厨地区放課後児童クラブ施設整備工事費として1千106万7千円が計上されました。

これは、平成26年度の御厨地区小学校統廃合に伴い児童が増加することにより、現在空き教室を使用して実施している放課後児童クラブの実施が困難となるため、親和銀行社宅跡を購入し施設整備を行うものです。

産業経済委員会

★議案第92号 松浦市公共下水道区域外流入受益者分担金に関する条例の一部改正について

督促手数料及び延滞金の取り扱いを松浦市税外収入金の督促手数料及び延滞金に関する条例に統一することに伴い改正されたもので、本年10月1日から施行されます。

★議案第95号 平成25年度松浦市一般会計補正予算（関係分）

農漁業の振興と経営安定を図るため、燃油価格高騰に伴う緊急対策として燃油購入費の一部を助成する経費3千220万4千円が計上されました。県の住宅性能向上リフォーム支援事業を活用し、既存住宅をバリアフリー、省エネ、防火型に機能を向上させる改修工事に対し、補助金として701万7千円が計上されました。企業誘致の促進を図るため、松浦港坊ノ上地区に道路整備及び水道管布設を行うための工事費796万1千円が計上されました。

常任委員会の行政調査

文教厚生委員会

平成25年7月1日から7月3日までの3日間、山形県東根市の「総合保健福祉施設と子育て支援事業」についてと山形県村山市の「図書館行政」について行政調査を行いました。

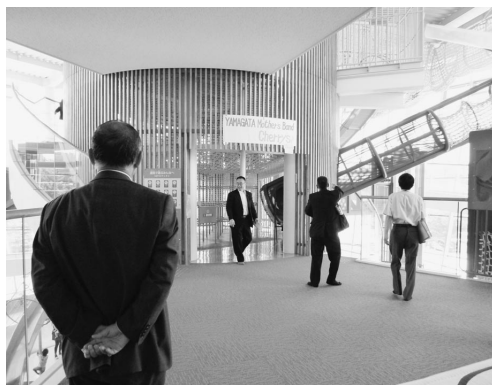
【調査概要】

東根市総合保健福祉施設は、平成20年度に日本経済新聞社主催の「いい子育て支援大賞」を受賞してい

ます。総事業費33億円の充実した施設設備を有し、運営をNPO法人に委託するなど民間の力を活用している点は大いに参考になりました。人口4万7千人の中で月平均2万8千人の入場者の実績があります。種々創意工夫をしながら、子育て支援、市民と行政による協働のまちづくり活動、情報発信の拠点施設として充実した運営が行われていると実感しました。

施設の建設にあたっては、基本構想の策定からオープンまで5年の歳

月をかけて協議検討が重ねられていました。松浦市でも市民の保健、福祉、医療のサービスを有機的かつ総合的に提供できる施設の整備が望まれ、総合福祉保健センターの構想が練られている段階です。その成功の鍵は運営体制の構築であり、施設整備の立ち上げまでには十分な準備が必要であると思われます。市民とともに英知を結集し、建設に向けた行動をすべき時期にあると感じました。



東根市総合保健福祉施設

村山市は、全市をあげて読書に取り組むこととして「読書シティむらやま」を平成22年に高々と宣言し、同年に新しい図書館が開館しています。松浦市とあまり変わらない人口規模2万7千人でありながら、入館者数は月平均1万2千500人という実績があります。図書館資料の充実に加え、ICタグの導入、大活字本や

朗読CDの増設など市民の要望に沿ったサービスの向上に努めていました。さらに、年間を通じて県や地区と連携し各種イベントの開催など読書に親しむための多彩な仕掛けが行われています。指定管理制度の導入は、開館当初から議論があったものの図書館運営は営利が関係するものではないことから、指定管理者に運営させるのは難しいのではないかと考えられ、市直営となっています。職員に関しても、情報提供を円滑に行うためには業務経験が求められることから、長期間雇用や業務委託が必要だとのことでした。

本市立図書館運営の更なる飛躍を期すためにはどうすればいいのか、今回の調査結果を参考に、市議会としても共に知恵を出し合いたいと感じました。



村山市図書館

産業経済委員会

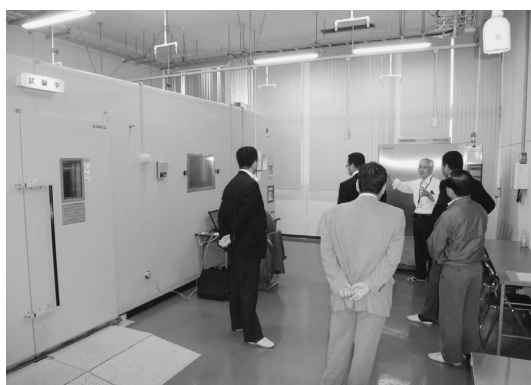
平成25年7月2日から7月4日までの3日間、岩手県花巻市の「起業化支援の取り組み」についてと秋田県湯沢市の「国体の民泊及び循環型農業推進事業」について行政調査を行いました。

【調査概要】

花巻市は、新事業創出基盤施設として花巻市起業化支援センター、花巻市賃貸工場、花巻市ビジネスインキュベータを設置し、ベンチャー支援を全面に打ち出して誘致企業と地場企業の融合や地域間、企業間競争に向けた地域企業の意識改革が行われています。花巻市起業化支援センターには岩手大学の出先機関もあり、有機薄膜の研究開発が行われています。3Dプリンターを活用した試作品作りや高低温での製品の耐用テスト機械が設置された研究室内を見学することができました。

同センター独特の運用方法としては、プロパー職員を配置し専門性が確保されているため、企業との交渉の中では信用度も高く評価され安心感が得られているとのことでした。また、センターの設置成果を表す投資と効果を試算し、その結果を提示しています。平成21年には収収等の効

果によりプラス成果が現れています。同市には産業支援施策も充実しています。農工商が連携した一次産業の生産から加工、販売に至る6次産業化への支援プロセスと事例を聞くことができました。新規企業の誘致とともに地元産業や起業家の育成も手厚く、本市の地元産業育成の取り組みにも参考となることが多くありました。



花巻市起業化支援センター

湯沢市での国体の民泊は、選手がいきなり気持ちよくプレーして感動を与えられることができ、市民も一体となつて応援に繋がるようにとの考えから実施したとのことでした。民泊といつても、食事は調理班を編成して1か所を提供する体制をつくり、民家の負担を軽減する対策がとられています。



湯沢市循環型農業推進センター

松浦市も体験型の民泊利用と併せて、国体を機に新たな受け入れ家庭の拡大ができないかという期待もありましたが、修学旅行シーズンと重なることや新たな受け入れに対しては相当の準備が必要であることから、実際の運用は難しいと思われました。循環型農業推進センターは、家畜の糞尿を堆肥化する施設ですが、利用実数が少なく毎年赤字経営とのことでした。施設周辺では特に臭いを感じませんでした。施設の内は相当に強い臭いがしており、悪臭の問題は、建設してみないと見当がつかないとのこと。現在は、畜産農家の減少と堆肥の引受団体の離脱など様々な要因が重なり、市の直営事業では厳しい状況とのことでした。当該施設の設置に際しては、畜産農家の現状と採算性の精査を行った上で、本市に適合するかどうかを十分に検討する必要があると感じます。

企業対策 特別委員会

6月7日、委員会を開催し御厨町坊ノ上への企業誘致に関し、理事者より伊万里市の水産関係会社から用地の分譲申し込みがあり、用地2千500平方メートルを整備したうえで分譲する意向が示されました。鮮魚の選別や養殖飼料等の凍結加工が主な事業で、新規雇用12名が予定されています。

7月9日、委員会を開催し東部工業団地の現地確認と企業誘致の動向について報告を受けました。製造業関連7社の現地視察があり、今後とも県と連携して企業との接触を図っていく意向が示され、市の総力を挙げた取り組みを要請しました。

8月20日の委員会では、坊ノ上地区の施設整備に関して8月1日から分譲を開始した東部工業団地に関する取り組みについて報告を受けました。東部工業団地では造成工事の際に砂等の飛散があり、周辺民家の被害状況を調査のうえ補償を検討する旨が示されたため、住民との十分

特別委員会の動き

な話し合いにより問題解決に当たるとの意見が出されました。

道路網整備促進 特別委員会

6月20日、議長及び市長とともに国土交通省九州地方整備局長及び同局長崎河川国道事務所長に対し、西九州自動車道の松浦く佐々間の平成26年度新規事業化、伊万里松浦道路の整備促進及び道路整備のための安定的な予算の確保について要望いたしました。



九州地方整備局へ要望

8月5日、佐々町において伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会総会が開催され、平成25年度の活動計画等を決定するとともに、「道路整備予算の確保等に関する決議」を全会一致で採択し、政府及び関係機関へ決議文を送付いたしました。

8月29日と8月30日には、協議会の活動計画に基づき、佐賀・長崎両県知事、両県議会議長並びに佐賀国道事務所長、長崎河川国道事務所長に対し、唐津伊万里道路、伊万里道路、伊万里松浦道路の早期供用開始、松浦く佐々間の平成26年度事業化及び道路整備予算の安定的な財源確保を要望いたしました。

各機関とも、予算確保が重要であり、ミッシングリンクの早期解消に向け、一致協力して取り組んでいきたいとの回答を頂きました。



長崎河川国道事務所へ要望



8月

- 1日◇奈良県葛城市議会視察来市
- 5日◇伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会総会（佐々町）
- 6日◇長崎県議会農水経済委員会現地調査来市
- 20日◇企業対策特別委員会
- 21日◇北松北部環境組合議会（平戸市）
- 22日◇23日
- ◇長崎県市議会議長会臨時総会（西海市）
- 23日◇長崎県市議会議員研修会（西海市）
- 27日◇長崎県後期高齢者医療広域連合議会運営委員会・定例会（長崎市）
- 29日◇伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会要望活動（長崎市）
- 30日◇議会運営委員会
- ◇伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会要望活動（佐賀市）

9月

- 6日◇19日
- ◇第3回市議会定例会
- 19日◇全員協議会

10月

- 1日◇棕呂路・板山トンネル建設促進期成会による要望活動（佐世保市）
- 7日◇西九州自動車道建設促進期成会による要望活動（長崎市）
- ◇棕呂路・板山トンネル建設促進期成会による要望活動（長崎市）
- 8日◇決算審査特別委員会（長崎市）
- 9日◇全員協議会
- 11日◇全国過疎問題シンポジウム in ながさき松浦市分科会
- ◇西九州自動車道総決起大会（平戸市）
- 13日◇玄海原子力発電所に係る安全連絡会（平戸市）
- 15日◇17日
- ◇長崎県市議会議長会行政視察（函館市、奥州市、平泉町）
- 17日◇市議会だより編集委員会（佐世保市）
- 18日◇決算審査特別委員会
- 21日◇松浦鉄道自治体連絡協議会臨時総会（佐世保市）
- ◇決算審査特別委員会
- 22日◇決算審査特別委員会
- 23日◇決算審査特別委員会
- 24日◇決算審査特別委員会
- 25日◇東彼杵道路建設促進期成会による要望活動（長崎市）

7月臨時会

7月30日に臨時会を開催し、予算1件、その他の議案3件の審議を行いました。また、そのほかの議事として、出資法人である株式会社鷹島公社の経営状況の報告がなされました。

議案の審議結果は、次のとおりになりました。

- 平成25年度松浦市一般会計補正予算（第4号）・・・原案可決
- 損害賠償額の決定について・・・原案可決
- 財産の取得について・・・原案可決
- 財産の取得について・・・原案可決

決算審査特別委員会構成

平成25年9月19日設置

委員長	下久保直人
副委員長	山口芳正
委員	嶋田廣美
	吉原順穂
	鈴木立靖
	志水正幸
	板谷國博

傍聴のしかた

本会議は一般に公開され自由に傍聴できます。

傍聴を希望される方は、市役所5階の傍聴席入口にある傍聴者名簿に氏名・年齢・住所を記入して入場してください。

傍聴席での飲食・喫煙は禁止されています。また、録音・写真撮影・ビデオ撮影等は事前に許可を必要とします。



議案等の審議結果

予 算

◎平成25年度松浦市一般会計補正予算 (第5号)	原案可決	◇平成25年度松浦市下水道事業特別会計補 正予算(第1号)	原案可決
□平成25年度松浦市青島診療所事業特別会 計補正予算(第2号)	原案可決	◇平成25年度松浦市松浦魚市場特別会計補 正予算(第2号)	原案可決
□平成25年度松浦市国民健康保険特別会計 補正予算(第2号)	原案可決	◇平成25年度松浦市臨海土地造成事業特別 会計補正予算(第2号)	原案可決
□平成25年度松浦市後期高齢者医療特別会 計補正予算(第1号)	原案可決	◇平成25年度松浦市水道事業会計補正予算 (第1号)	原案可決
□平成25年度松浦市介護保険特別会計補正 予算(第1号)	原案可決	◇平成25年度松浦市工業用水道事業会計補 正予算(第1号)	原案可決
◇平成25年度松浦市簡易水道事業特別会計 補正予算(第1号)	原案可決	◇平成25年度松浦市下水道事業会計補正予 算(第1号)	原案可決
□平成25年度松浦市福島診療所事業特別会 計補正予算(第2号)	原案可決	◇平成25年度松浦市交通事業会計補正予算 (第1号)	原案可決
□平成25年度松浦市鷹島診療所事業特別会 計補正予算(第1号)	原案可決	※平成25年度松浦市一般会計補正予算 (第6号)	原案可決

条 例

○松浦市税外収入金の督促手数料及び延滞 金に関する条例の一部改正について	原案可決	◇松浦市公共下水道区域外流入受益者分担 金に関する条例の一部改正について	原案可決
□松濤奨学基金条例の一部改正について	原案可決	◇松浦市集落排水処理施設条例の一部改正 について	原案可決
□松浦市中央診療所の設置等に関する条例 の全部改正について	原案可決	□松浦市学校設置条例の一部改正について	原案可決

そ の 他

○あらたに生じた土地の確認及び字の区域 の変更について(2件)	原案可決	◇平成24年度松浦市工業用水道事業会計未 処分利益剰余金の処分について	原案可決
□松浦市立星鹿小学校校舎改築工事請負契 約の変更について	原案可決		

決算審査特別委員会設置・審査付託

▼平成24年度松浦市一般会計の決算認定に ついて	継続審査	◇平成24年度松浦市水道事業の決算認定に ついて	認 定
▼平成24年度松浦市青島診療所事業特別会計の決 算認定ほか各特別会計の決算認定について 12件	継続審査	◇平成24年度松浦市工業用水道事業の決算 認定について	認 定

諮 問

◎人権擁護委員候補者の推薦について (御厨町 西村 美枝子 氏) (調川町 辻 尚子 氏) (鷹島町 川村 雅太郎 氏)	了 承	◇平成24年度松浦市下水道事業の決算認定 について	認 定
		◇平成24年度松浦市交通事業の決算認定に ついて	認 定
		□平成24年度松浦地区火葬場組合一般会計 の決算認定について	認 定

議員提出議案

※地方税財源の充実確保を求める意見書の 提出について	原案可決	※合併算定替終了後の新たな財政支援措置 を求める意見書の提出について	原案可決
-------------------------------	------	---------------------------------------	------

(注) 文頭の記号は審査の付託先を表しています。

◎…各常任委員会(総務・文教厚生・産業経済)へ分割付託

※…委員会付託を省略し全員審査

○…総務委員会

□…文教厚生委員会

◇…産業経済委員会

▼…決算審査特別委員会

編集後記

深秋の候となりました。
深秋とは冬に移ろうとする
時期で、一年の内で自然の姿
が一番ものの悲しく感じられる
時なのだそうです。

そして、朝夕の冷え込みを
本格的に感じる季節でもあり
ます。

風邪などひかないように体
調を万全にして、2013年
の残りあと2か月余りを元氣
で楽しくお過ごしください。

2014年が市民の皆様にと
って素晴らしい一年となり
ますように。

㊟

市議会だより編集委員会

委員長 尾野 一男
副委員長 武辺 鈴枝
委員 山口 芳正
委員 吉原 順穂
委員 久枝 邦彦
委員 志水 正司